

# KDplug\_in for DocuWorks

## DocuWorks(Fuji Xerox) プラグイン製品

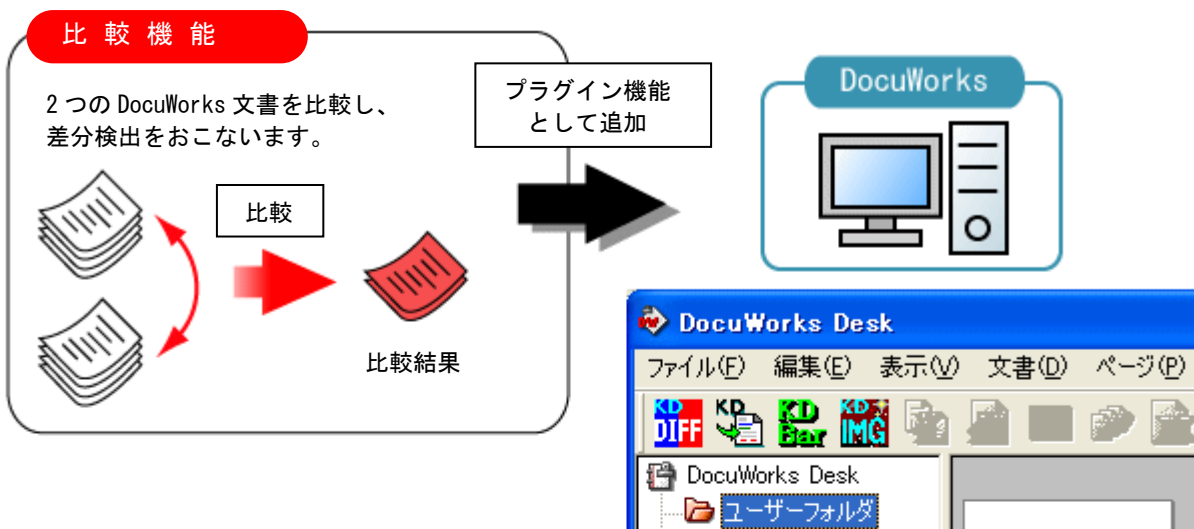


Kernel Computer System  
カーネルコンピュータシステム株式会社

本社：パッケージ販売部  
〒221-0056  
横浜市神奈川区金港町 6-3 横浜金港町ビル 6F  
TEL：045-442-0500 FAX：045-442-0501  
URL：<http://www.kernelcomputer.co.jp>

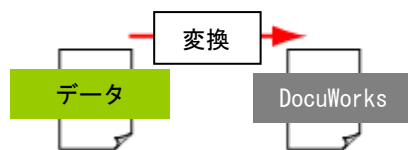
### 処理概要

「KDplug\_in for DocuWorks」は電子書庫である DocuWorks (Ver4.1 以上) がインストールされている環境において DocuWorks Desk のプラグインとして利用可能なユーティリティソフトウェアです。  
DocuWorks Desk 上で新旧 2 つの DocuWorks ファイルの比較、様々なフォーマットデータ (プリント・プロット・CAD・イメージ) の取り込み、バーコード合成、イメージ出力をおこないます。



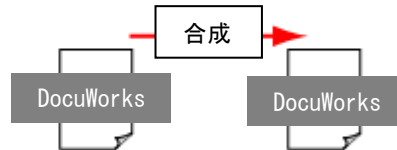
### データ取り込み機能

各種フォーマットデータ (HP-GL、HP-GL2、イメージなど) を DocuWorks へ変換します。



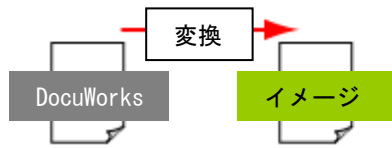
### バーコード合成機能

DocuWorks 文書にバーコード (QR コード、CODE39 など) を合成します。



### イメージ出力機能

DocuWorks 文書にイメージデータ (TIFF、JPEG、BMP など) へ変換します。



## KDplug\_in for DocuWorks について

### 【比較機能】

DocuWorks Desk 上の 2 つの DocuWorks ファイルを比較し、差分を表示します。差分情報（差分の有無、個数）をテキストファイルに出力することが可能で差分の検出が容易におこなえます。マルチページデータの比較に対応しています。差分を表示した DocuWorks ファイルを保存できます。

※比較機能について、比較結果の差分の有無、相違数(比較情報)のみ必要な場合は、比較情報ファイルを出力する機能を使用し、解像度を最低(75DPI)にすることで高速比較が行えます。

### 【データ取り込み機能】

PLOT データの業界標準である HP-GL, HP-GL/2、プリント板業界で利用される GERBER データ、CAD データ (DXF, DWG)、OFI、幅広く利用されているイメージデータ (TIFF, JPEG, BMP, CALS 等) の読み込み、保存が可能です。データ取り込み後は DocuWorks の機能を利用して編集が可能です。

※ベクター系データを処理する場合、ラスターデータに変換して処理をおこない出力します。出力の設定をカラーにすると、ファイル容量が大きく、処理時間も増大しますので、カラーデータにする必要がない場合はすべて黒色(モノクロ)にすることをお勧めします。モノクロ化(2値)にすることによってファイル容量を小さく、処理時間を短縮することができます。

### 【イメージ出力機能】

DocuWorks ファイルをイメージフォーマットへ出力します。60 種類以上のイメージフォーマット形式をサポートしています。モノクロ/カラー出力の設定、スケーリング、解像度指定、マルチページ化等の指定が可能です。

### 【バーコード合成機能】

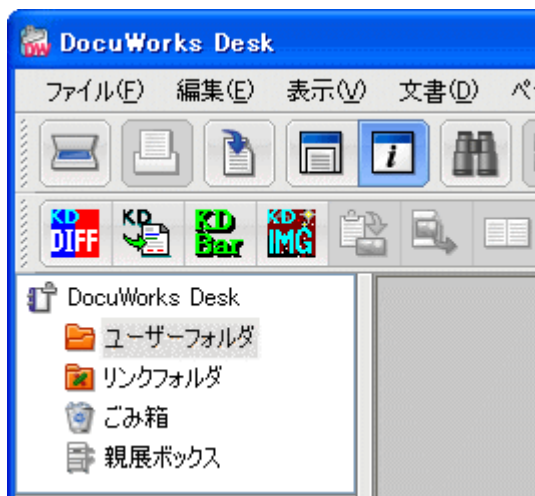
XDW ファイルにバーコード (CODE39, CODE128, PDF417, QR\_CODE 等) をアノテーション合成して出力します。

※合成が可能なバーコードの種類

名称	内容
QR (MICROQR_CODE)	QR コード (2次元)。型番は任意。
JAN13, EAN13	JAN および EAN コードのうち、13桁のもの。
JAN8, EAN8	JAN および EAN コードのうち、8桁のもの。
ITF	ITF。桁数は任意。
NW-7	NW-7。桁数は任意。
CODE39	Code39。桁数は任意。
CODE128	すべての Code128。桁数は任意。
GS1-128	Code128 のうち、GS1-128 (旧称: UCC/EAN128) 規格に適合するもの。
CUSTOMER	郵便カスタマバーコード。
DATAMATRIX	DataMatrix コード (2次元) ECC2000 のみサポート
PDF417 (MICROPDF417)	PDF417 コード (2次元)
MAXICODE	MaxiCode コード (2次元)
CONVENI_BAR	コンビニバーコード
GS1 DataBar	GS1 DataBar (旧称: RSS) バーコード
MEDICALMATERIAL	医療資材商品バーコード
GS1 合成シンボル	GS1 合成シンボル (旧称: EAN, UCC 合成シンボル)

## KDplug\_in アイコンの見方

「KDplug\_in for DocuWorks」をインストールすると DocuWorks Desk のメニューバーに 4 つのプラグインアイコンが表示されます。「KDplug\_in for DocuWorks」では機能ごとに 4 つのプラグインに分かれています。



### 【比較機能アイコン】

XDW ファイルを比較する場合にはこのアイコンを使用します。  
詳細については「[比較機能](#)」を参照してください。



### 【データ取り込み機能アイコン】

KDplug\_in for DocuWorks を利用して各種データを取り込む場合にはすべてこのアイコンを使用します。  
詳細については「[データ取り込み機能](#)」を参照してください。



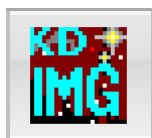
### 【バーコード合成機能アイコン】

XDW ファイルにバーコード合成する場合にはこのアイコンを使用します。  
詳細については「[バーコード合成機能](#)」を参照してください。



### 【イメージ出力機能アイコン】

XDW ファイルをイメージデータ (ラスター/PostScript/PDF/HP-RTL/SVG) へ出力する場合にはこのアイコンを使用します。詳細については「[イメージ出力機能](#)」を参照ください。



## 比較機能（ファイルの比較）

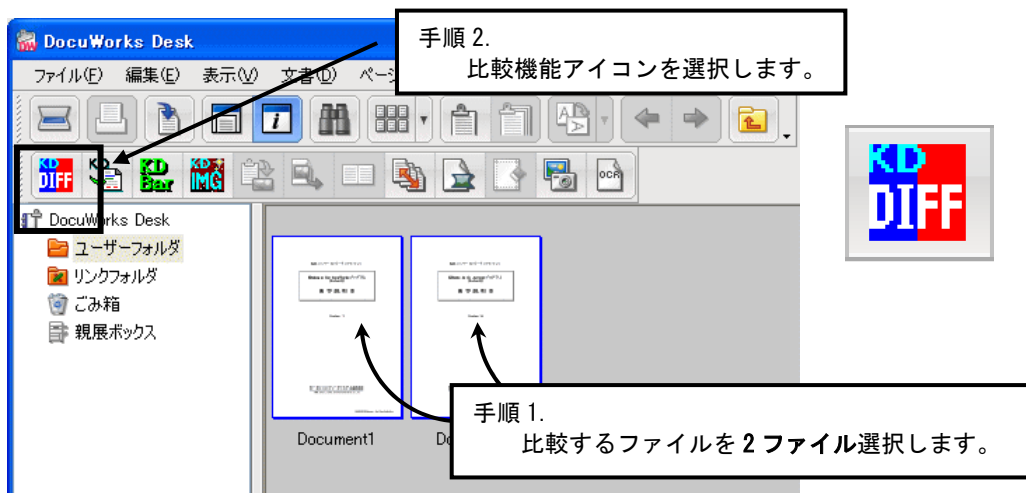
ここでは例を挙げて KDplug\_in for DocuWorks の比較機能の使用方法を説明します。

### ◆DocuWorks ファイルを比較する



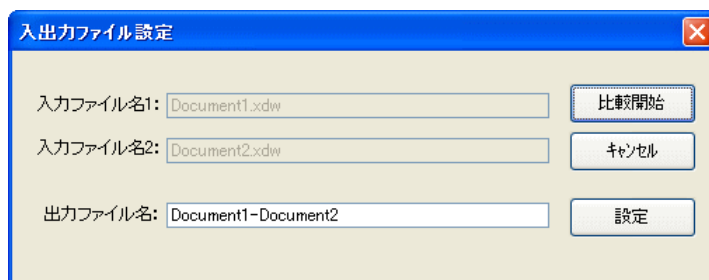
(1) DocuWorks Desk を起動します。

DocuWorks Desk ダイアログに表示されているファイルを 2 ファイル選択します。  
2 ファイル選択した状態 (DocuWorks 文書の周りが青で縁取りされている状態) で  
KDplug\_in for DocuWorks 比較機能アイコンをクリックします。  
クリックすると比較ファイル設定ダイアログが表示されます。



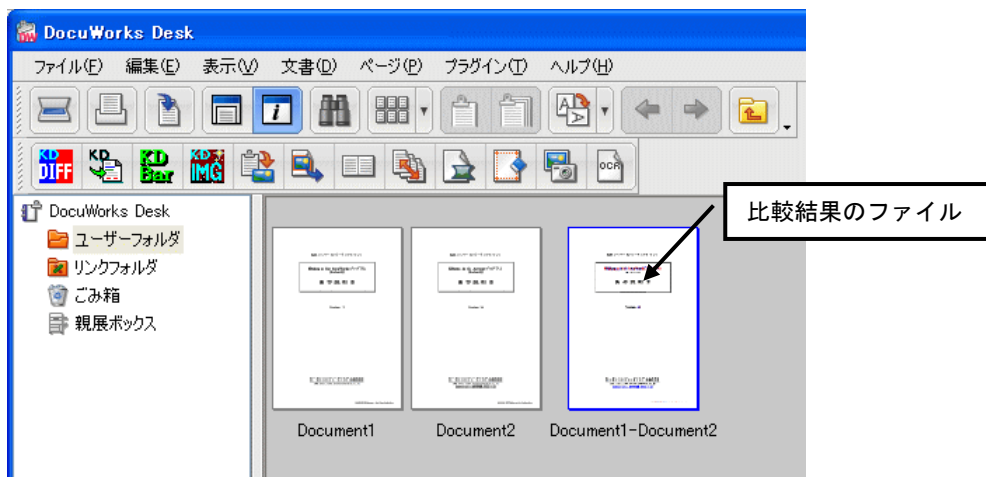
※キーボードの「Ctrl」、「Shift」ボタンを押しながらファイルをクリックすると 2 ファイル (複数) 選択することができます。  
マウスの左ボタンを押しながら指定範囲内に表示ファイルを入れることにより、2 ファイル (複数) 選択することができます。

(2) 「入力ファイル 1」、「入力ファイル 2」に選択した XDW ファイル名が表示されます。  
「出力ファイル」には選択した 2 つのファイルをつなげたファイル名が表示されます。



(3) 「比較開始」ボタンをクリックすると変換を開始します。  
処理中はカーソルが砂時計になっています。

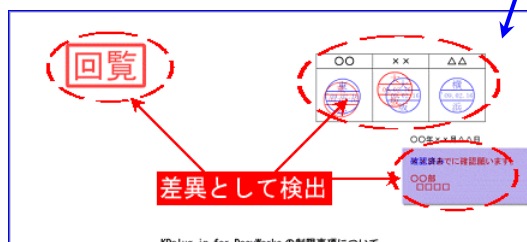
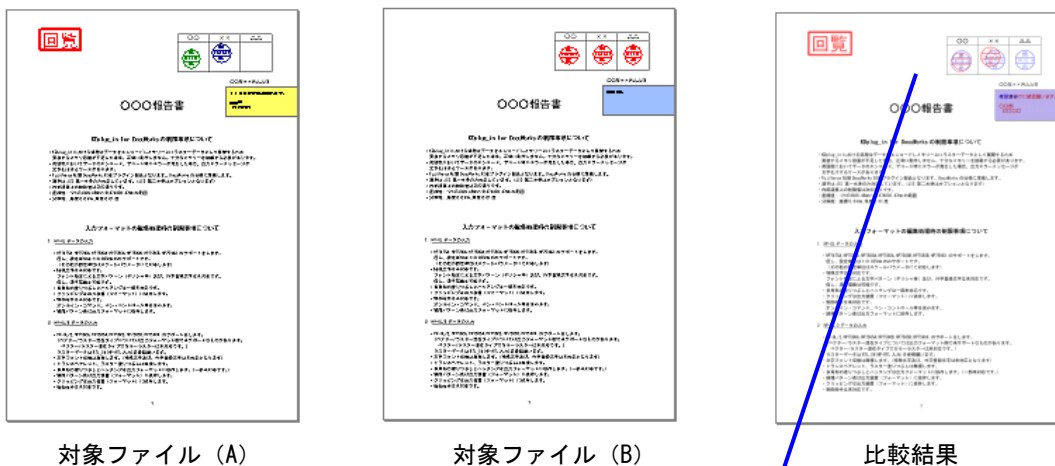
- (4) カーソルが矢印に戻れば変換は終了です。  
 変換が成功すれば DocuWorks Desk に比較結果を表示したファイルが作成されます。



## 比較機能のサンプル

### ◆サンプル①(アノテーション (印鑑、日付印、付箋、スタンプなど) の比較)

DocuWorks ファイルに追加されたアノテーションを比較することができます。



比較結果の詳細図

◆サンプル②(色の違いを比較)

比較対象ファイルの色の違いを検出することができます。

対象ファイル (A)

対象ファイル (B)

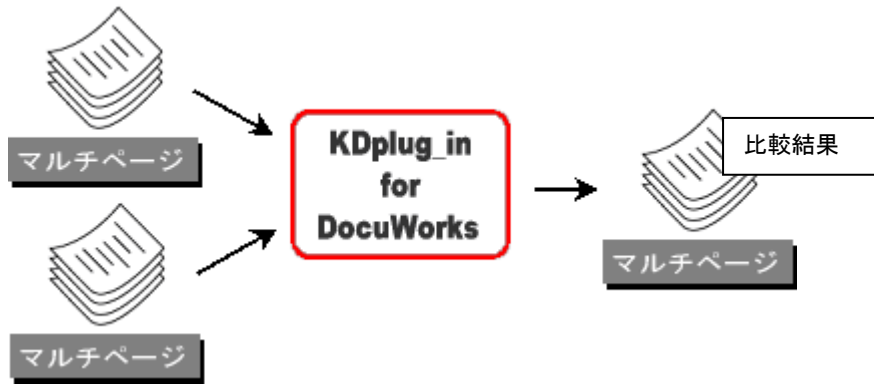
比較結果

受注日	注文番号	得意先名	品目	数量	単価	金額
2023/1/1	Ch-JAN-001	〇〇〇〇株式会社	〇〇〇〇	100	1000	100000
2023/1/1	Ch-JAN-002	〇〇〇〇株式会社	〇〇〇〇	200	2000	400000
2023/1/1	Ch-JAN-003	〇〇〇〇株式会社	〇〇〇〇	300	3000	900000
2023/1/1	Ch-JAN-004	〇〇〇〇株式会社	〇〇〇〇	400	4000	1600000
2023/1/1	Ch-JAN-005	〇〇〇〇株式会社	〇〇〇〇	500	5000	2500000
2023/1/1	Ch-JAN-006	〇〇〇〇株式会社	〇〇〇〇	600	6000	3600000
2023/1/1	Ch-JAN-007	〇〇〇〇株式会社	〇〇〇〇	700	7000	4900000
2023/1/1	Ch-JAN-008	〇〇〇〇株式会社	〇〇〇〇	800	8000	6400000
2023/1/1	Ch-JAN-009	〇〇〇〇株式会社	〇〇〇〇	900	9000	8100000
2023/1/1	Ch-JAN-010	〇〇〇〇株式会社	〇〇〇〇	1000	10000	10000000
2023/1/1	Ch-JAN-011	〇〇〇〇株式会社	〇〇〇〇	1100	11000	12100000
2023/1/1	Ch-JAN-012	〇〇〇〇株式会社	〇〇〇〇	1200	12000	14400000
2023/1/1	Ch-JAN-013	〇〇〇〇株式会社	〇〇〇〇	1300	13000	16900000
2023/1/1	Ch-JAN-014	〇〇〇〇株式会社	〇〇〇〇	1400	14000	19600000
2023/1/1	Ch-JAN-015	〇〇〇〇株式会社	〇〇〇〇	1500	15000	22500000
2023/1/1	Ch-JAN-016	〇〇〇〇株式会社	〇〇〇〇	1600	16000	25600000
2023/1/1	Ch-JAN-017	〇〇〇〇株式会社	〇〇〇〇	1700	17000	28900000
2023/1/1	Ch-JAN-018	〇〇〇〇株式会社	〇〇〇〇	1800	18000	32400000
2023/1/1	Ch-JAN-019	〇〇〇〇株式会社	〇〇〇〇	1900	19000	36100000
2023/1/1	Ch-JAN-020	〇〇〇〇株式会社	〇〇〇〇	2000	20000	40000000

比較結果の詳細図

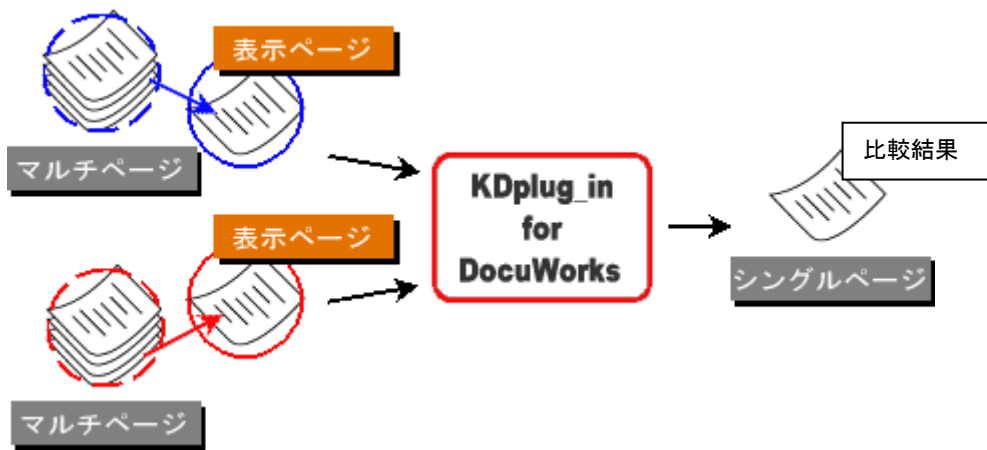
◆サンプル③(マルチページ文書同士の比較)

マルチページファイル比較に対応しています。



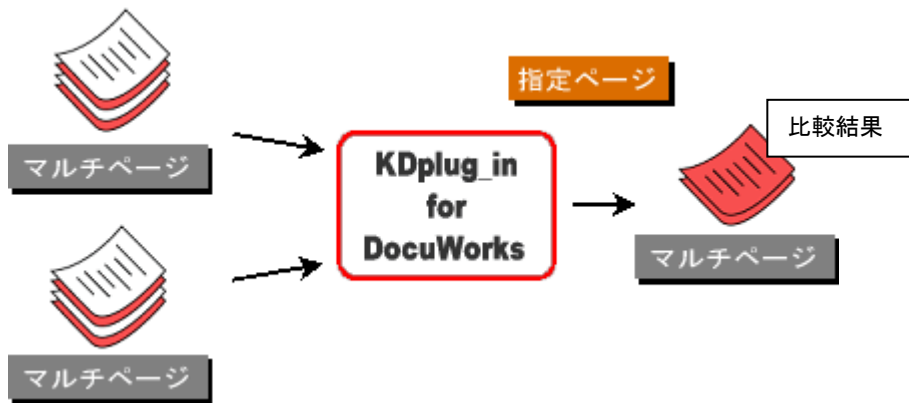
◆サンプル④(表示ページを抽出して比較)

マルチページファイルから DocuWorks Desk 上で表示しているページを抽出して比較することができます。



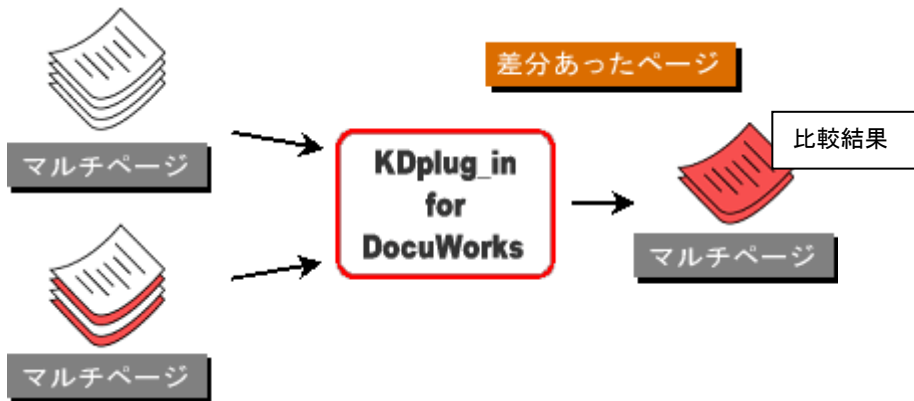
◆サンプル⑤(指定ページのみ比較)

比較をおこなう2つのファイルから比較処理するページの指定が可能です。(例: 2, 4 など)



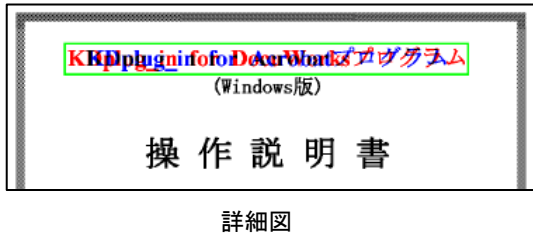
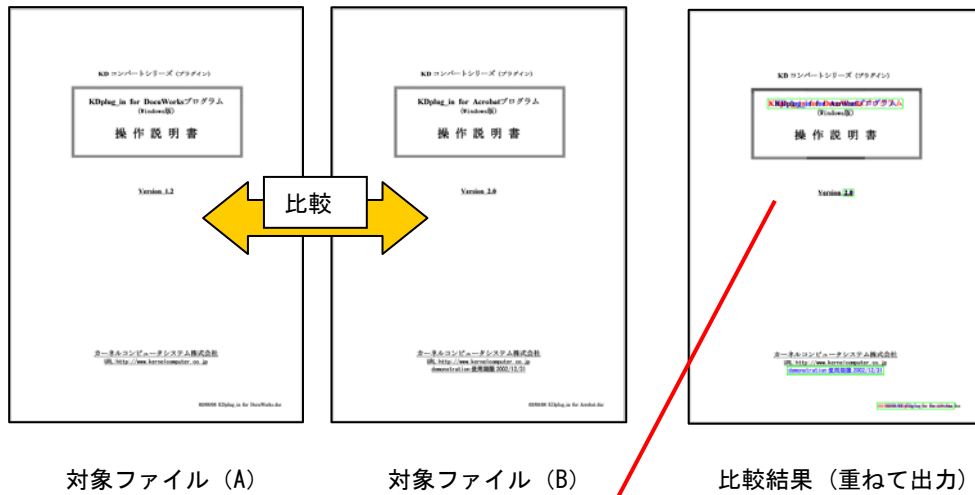
◆サンプル⑥(差分のあったページのみ出力)

比較をおこなう2つのファイルから差分のあったページのみ出力することが可能です。

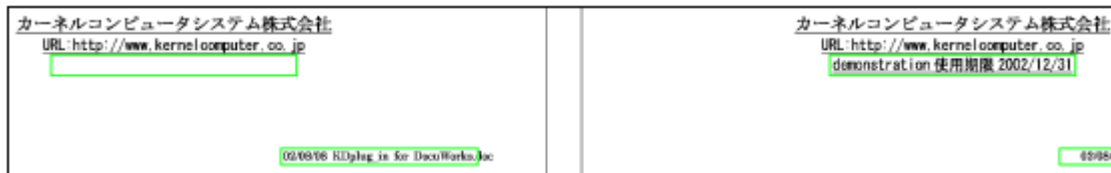
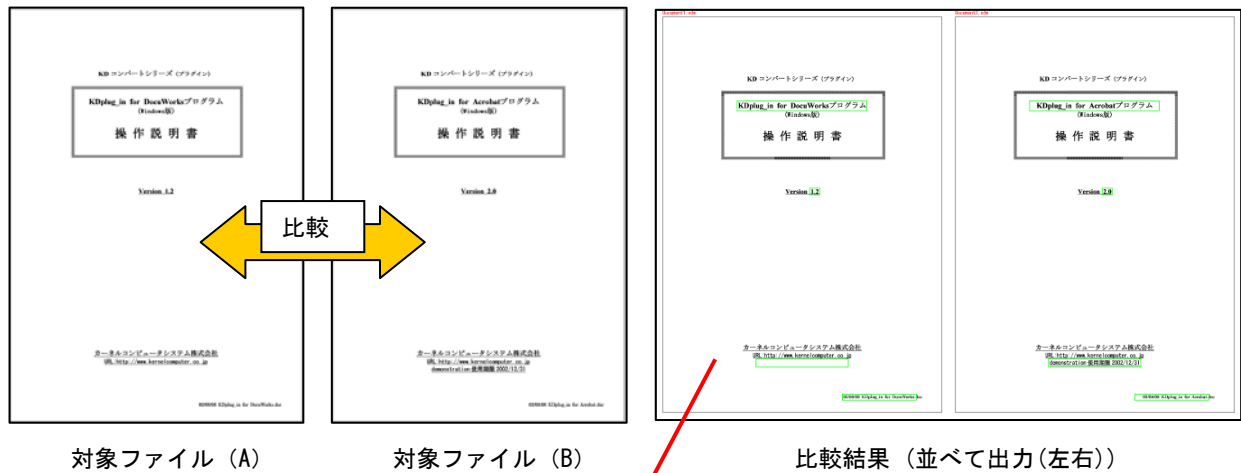


◆サンプル⑦(比較結果の出カレイアウト)

比較結果の出カレイアウトを指定することが可能です。(1. 重ねて出力 2. 並べて出力(左右、上下))



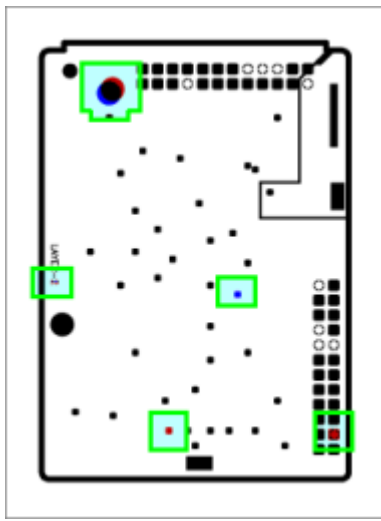
詳細図



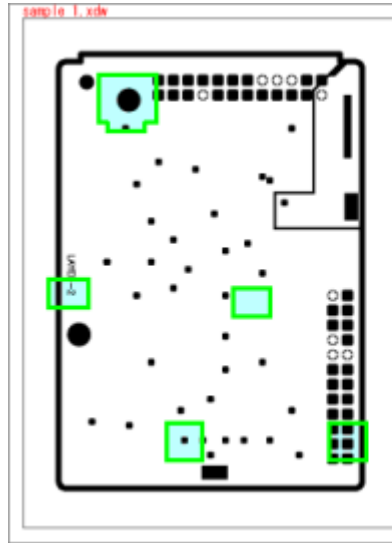
詳細図

◆サンプル⑧(差異枠をアノテーションとして出力する)

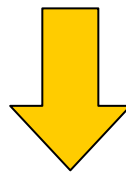
比較結果の差異枠をアノテーションとして出力することが可能です。  
また、『DocuWorks Viewer』上から差異枠の編集が可能です。



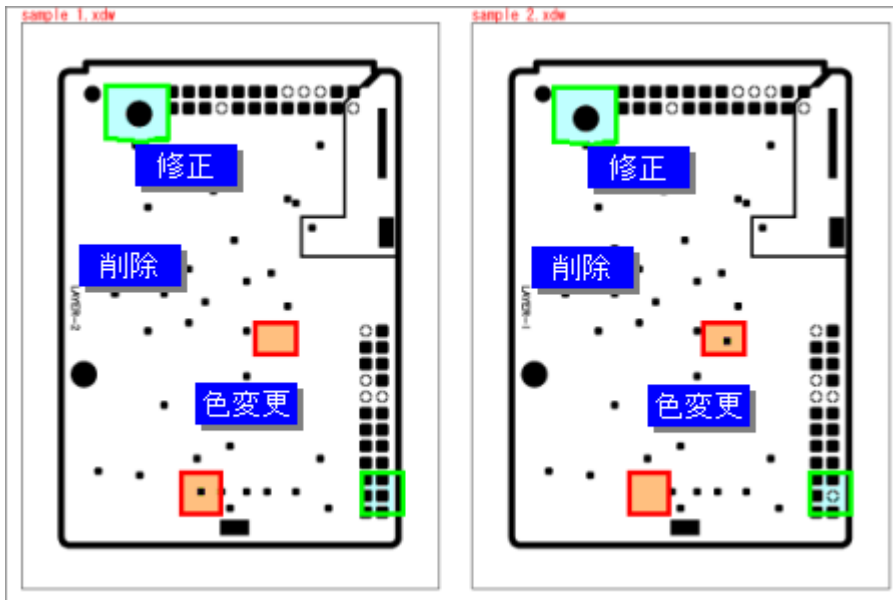
比較結果ファイル  
<出力形式：重ねて出力する>



比較結果ファイル  
<出力形式：並べて出力する>



編集内容  
(例)  
・ 枠の修正、削除  
・ 色変更



差異枠の編集結果

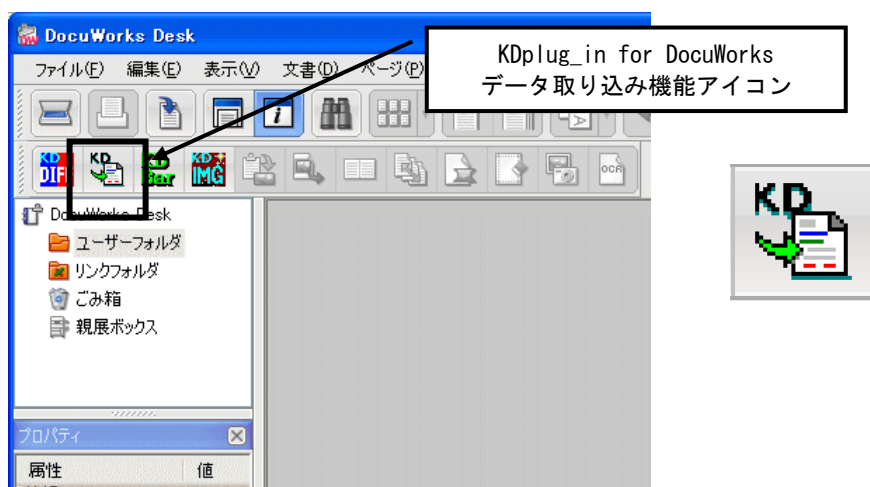
## データ取り込み機能

ここでは例を挙げてデータの取り込み方法を説明します。

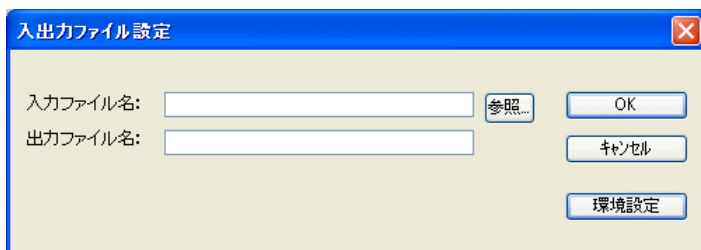
[新規にファイルを取り込む]



- (1) DocuWorks Desk を起動して「KDplug\_in for DocuWorks」のアイコンをクリックします。クリックすると入出力ファイル設定ダイアログが表示されます。

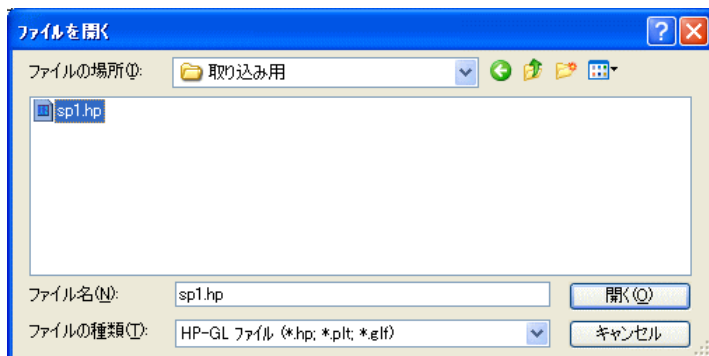


<DocuWorks Desk ダイアログ>



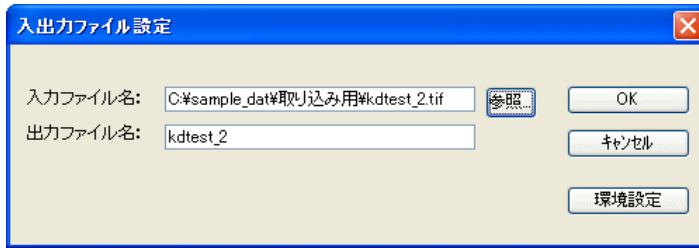
<入出力ファイル設定ダイアログ>

- (2) 「入力ファイル名」横の「参照」ボタンをクリックすると変換ファイルを選択するダイアログが表示されます。



<ファイル選択ダイアログ>

- (3) 「入力ファイル名」ボックスに選択したファイルが表示されます。  
「出力ファイル名」は入力ファイル名を元に自動的に設定されます。



- (4) 「OK」ボタンをクリックすると変換を開始します。

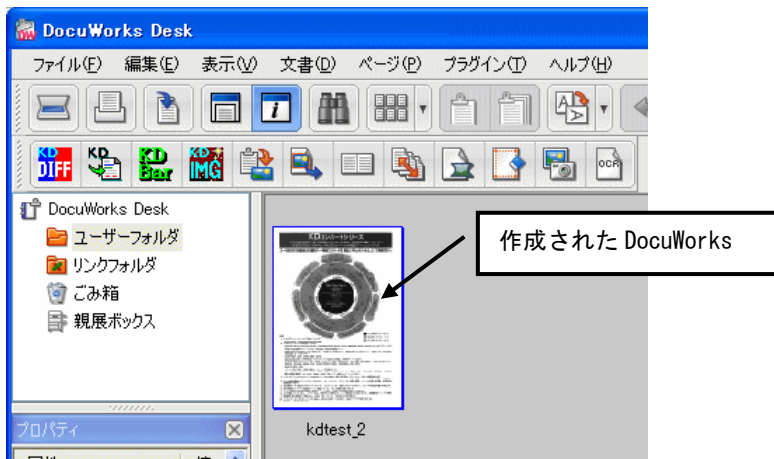
処理中はカーソルが**砂時計**になっています。

(注) ベクターデータからの変換では図面サイズや図面の複雑さによって、表示するまでに時間がかかることがあります。

ベクターデータをすべてラスターデータに変換して、DocuWorks データとして登録するので、カラーデータにすると、ファイル容量が大きく、処理時間が多くかかります。カラーデータにする必要がない場合はカラー出力をおこなわない選択(モノクロ出力)をすることによってファイル容量を小さく、処理時間を短縮することができます。

- (5) カーソルが矢印に戻り、「入出力ファイル設定」ダイアログが閉じれば変換は終了です。

変換が成功すれば DocuWorks Desk の「ユーザーフォルダ」に DocuWorks ファイルが作成されます。



## バーコード合成機能

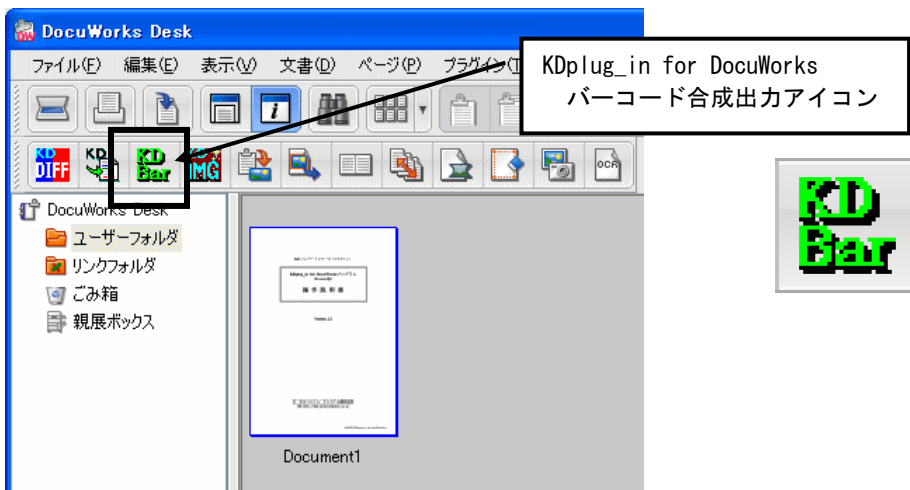
ここでは例を挙げて KDplug\_in for Docuworks のバーコード合成出力機能の使用方法を説明します。

◆XDW データにバーコードを合成、出力する



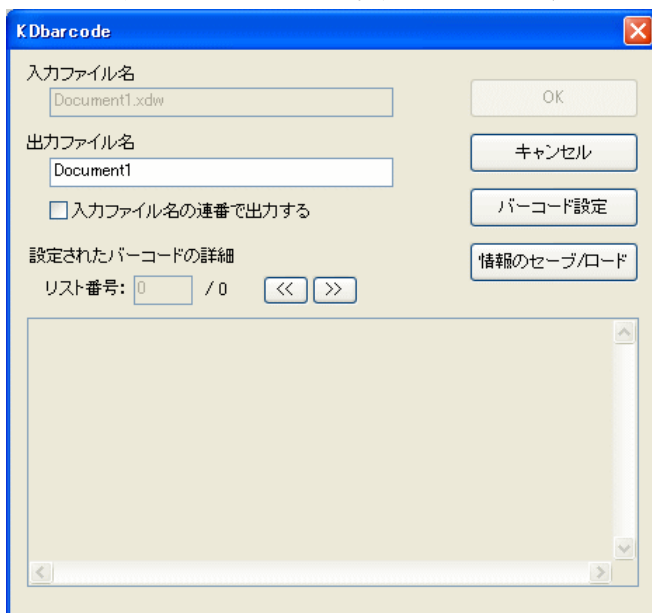
(1) DocuWorks Desk を起動します。

DocuWorks Desk ダイアログに表示されているファイルを 1 ファイル選択します。  
1 ファイル選択した状態 (DocuWorks 文書の周りが青で縁取りされている状態) で  
KDplug\_in for DocuWorks バーコード合成出力機能アイコンをクリックします。



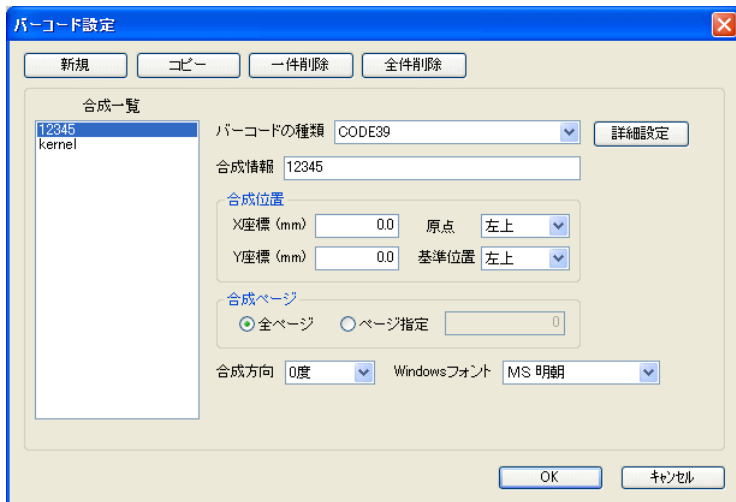
<DocuWorks Desk ダイアログ>

(2) クリックするとバーコード合成設定ダイアログが表示されます。



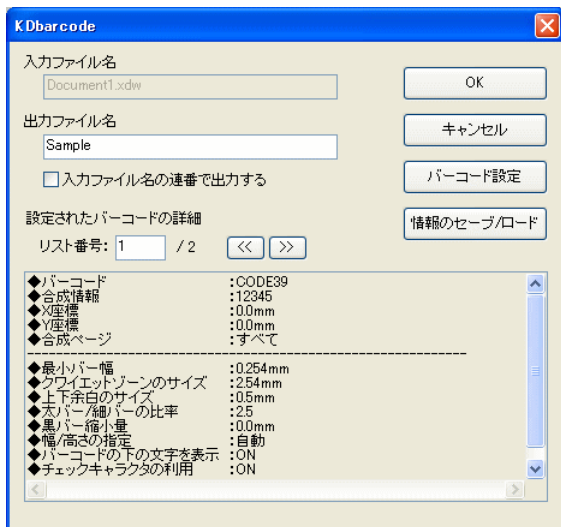
<バーコード合成設定ダイアログ>

(3) 設定ボタンをクリックして、入力データに合成をおこなう要素を設定します。

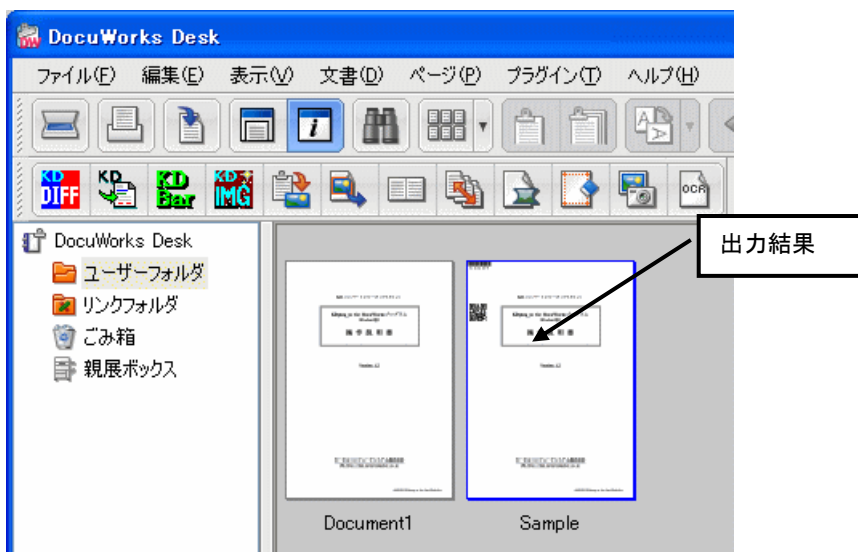


<バーコード合成設定ダイアログ>

(4) 生成可能なバーコードが登録され、OK ボタンをクリックすると処理を開始します。







(5) バーコード合成が成功すれば、出力先に XDW ファイルが作成されます。



<DocuWorks Desk ダイアログ>

## バーコード合成機能のサンプル

<作成結果のサンプル>

バーコード	作成日	データ	備考
 *012345678901*	09/02/01	013456789	00E19
 *12345678902*	09/02/01	123456890	00E19
	09/02/10	http://www.kernelcomputer.co.jp/	QRコード
	09/02/10	カーネルコンピュータシステム	QRコード

・登録されたバーコードの内容をアノテーションとして出力します。

 *12345678902*	09/02/10		
	09/02/10	http://www.kernelcomputer.co.jp/	QRコード
	09/02/10	カーネルコンピュータシステム	QRコード

アノテーション

任意の位置へ移動可能です。

バーコードはアノテーションとして作成され、任意の位置へ移動可能です。

DocuWorks Viewer での作業例

## イメージ出力機能

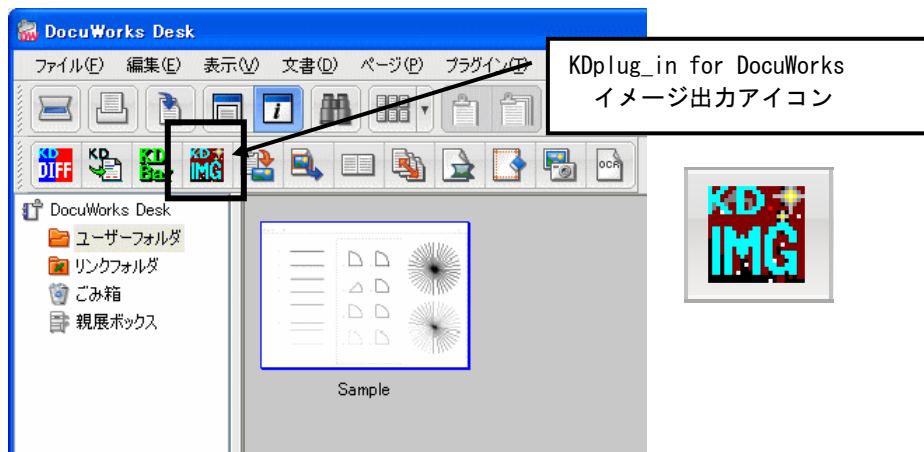
ここでは例を挙げて KDplug\_in for DocuWorks のイメージ出力機能の使用方法を説明します。

◆XDW データをイメージファイルへ出力する



(1) DocuWorks Desk を起動します。

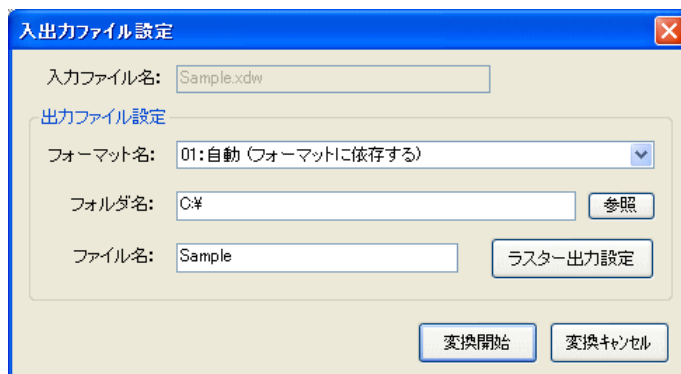
DocuWorks Desk ダイアログに表示されているファイルを 1 ファイル選択します。  
1 ファイル選択した状態 (DocuWorks 文書の周りが青で縁取りされている状態) で  
KDplug\_in for DocuWorks イメージ出力機能アイコンをクリックします。  
クリックすると入出力ファイル設定ダイアログが表示されます。



<DocuWorks Desk ダイアログ>

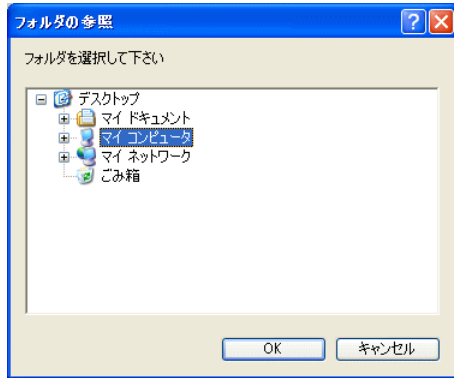
(2) 「入力ファイル名」に選択した XDW ファイル名が表示されます。

「出力ファイル名」には入力ファイル名を元に自動的に設定されます。



<入出力ファイル設定ダイアログ>

「出力ファイル設定 -> フォルダ名」横の「参照」ボタンをクリックすると保存先のフォルダを選択するダイアログが表示されます。



<フォルダの参照ダイアログ>

- (3) 「出力フォルダ名」、「出力ファイル名」を設定後「変換開始」ボタンをクリックすると変換を開始します。処理中はカーソルが砂時計になっています。  
(注) アプリケーション文書からの変換では図面サイズや図面の複雑さによって、表示するまでに時間がかかることがあります。  
カラーデータにすると、ファイル容量が大きく、処理時間もかかりますので、カラーデータにする必要がない場合はモノクロデータにするとファイル容量が小さく、処理時間もかかりません。
- (4) カーソルが矢印に戻り、「入出力ファイル設定」ダイアログが閉じれば変換は終了です。  
変換が成功すれば「出力ファイル設定」に入力した出力先にイメージファイルが作成されます。

## 作成可能なバーコード一覧

### > CODE39

信頼性が高いシンボルであることから、主に産業分野の作業指示票や現品ラベルに使用されています。



### > JAN8/JAN13

世界共通コードで生活用品のほぼ全てにマーキングされています。  
(書籍、雑誌業界、家電業界、アパレル業界などでも利用されています)



### > GS1-128

GS1-128 は共通商品コード(JAN、EAN、UPC)を補足するコードで、商品の製造年月日や製造ロット番号、出荷コンテナ番号などの商品関連情報や物流関連情報を追加、補足するためのコードです。各業界で利用され始めています。



### > QR\_CODE (MICROQR\_CODE)

日本で多く普及している2次元コードで、大容量データ、読み取りの高速化などに対応しています。一部が汚損して読み取れなくてもデータを復元することができます。



### > PDF417 (MICROPDF417)

PDF417 バーコードは高い情報量とエラー訂正機能を持つ複数行の可変長のコードです。各業界で利用され始めています。



### > DATAMATRIX

大量のデータエンコードに使用される2次元の可変長コードです。それぞれのバーコードは、独特の形で並んだ複数のデータセルで構成されています。最大、データエリアの60%が損傷した場合でも適切に読み取ることができます。



### > NW-7

血液銀行、宅配便の伝票、DPE、図書館の貸し出し管理などで利用されています。



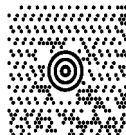
### > ITF

標準物流コードとして、JIS化されています。



### > MAXICODE

高速による360度の読み取りを実現しています。



### > CODE128

アスキーコード128文字(数字、アルファベット大文字/小文字、記号、制御コード)全てをバーコード化することができます。  
([ESC], [STX], [ETX], [CR], [LF]などの制御コードもコード化できます)



> **CONVENI\_BAR**

コンビニバーコード



(91)912345-A00000000000000000000000  
999999-0-010000-6

> **MEDICALMATERIAL**

医療資材商品コードバーコード



(01)04900350899995

> **CUSTOMER\_BCDE**

郵便事業の効率化を目的とした郵便物に印字するバーコードです。



> **GS1 DataBar**

医薬品、医療材料などの小物商品の管理を目的とした省スペースのバーコードです。

GS1 合成シンボルの派生バージョンで、14桁のグローバル・トレード・アイテム・ナンバー(GTIN)の値で構成されています。



(01)00000001234565

> **GS1 合成シンボル**

医薬品、医療材料などの小物商品の管理を目的とした省スペースのバーコードです。

GS1 合成シンボルで、14桁のグローバル・トレード・アイテム・ナンバー(GTIN)の値で構成されています。



012345  
(01)00000001234565

## 対応 OS

Microsoft Windows 2000 / XP / Server 2003

## 動作環境

※FujiXerox DocuWorks (ver4.1以降) (日本語版)が必要です。

## 標準価格

**KDplug\_in for DocuWorks**

販売価格 : ¥150,000 (税抜き) / 5 ライセンス